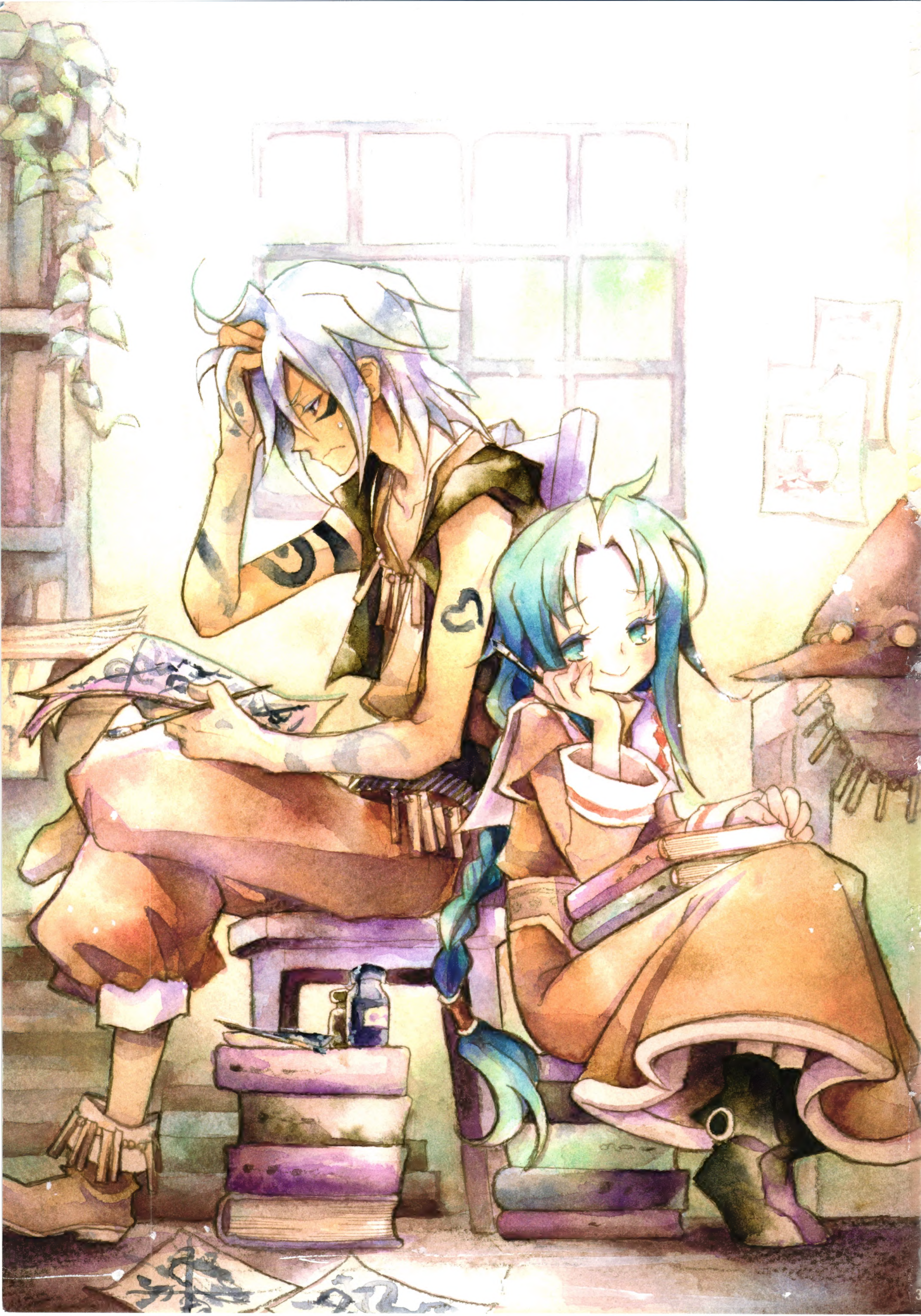

ユークリッドデイズ
Euclid Days
Tales of Phantasia
Klarth & Mirald
FAN BOOK
クラース×ミラルド
アンソロジー

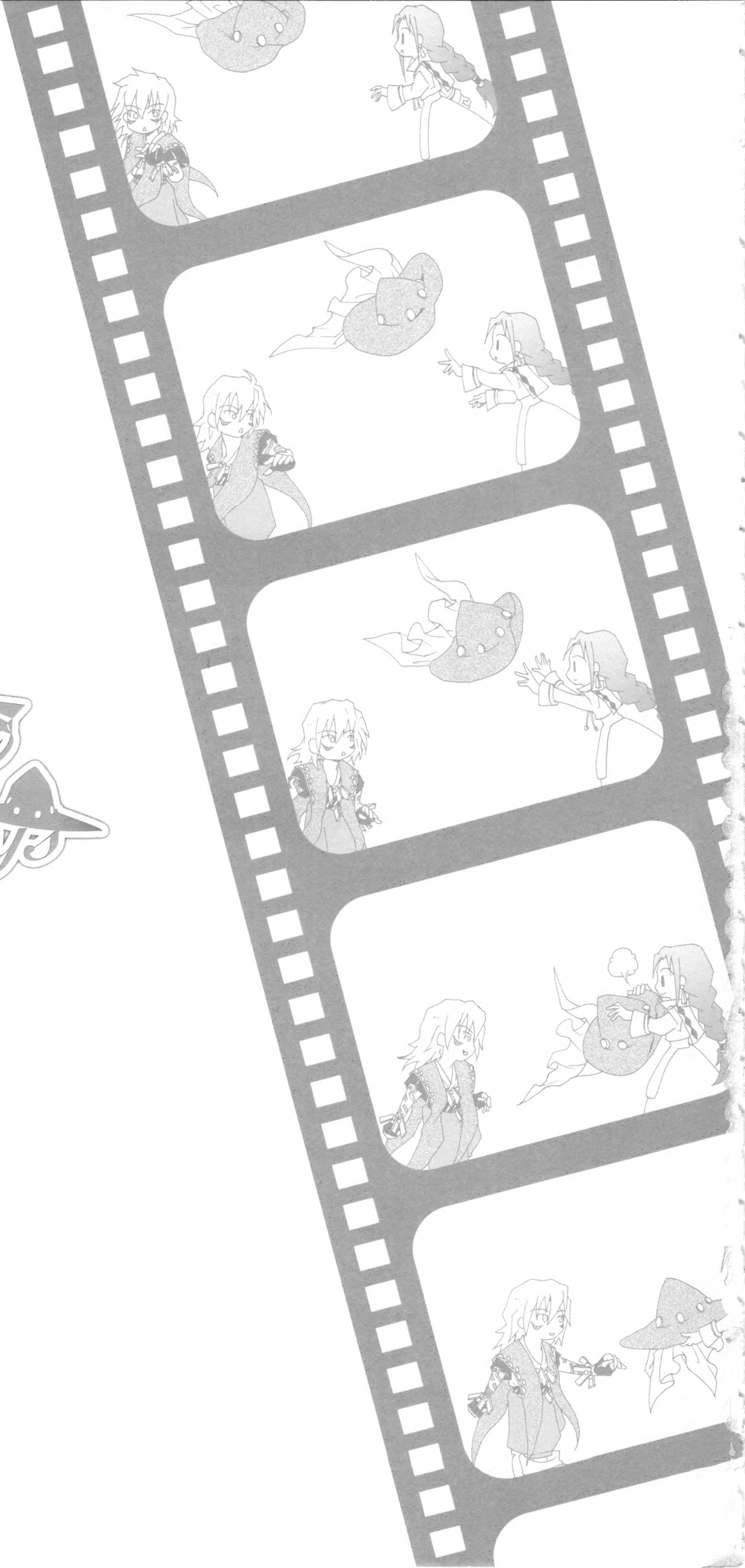






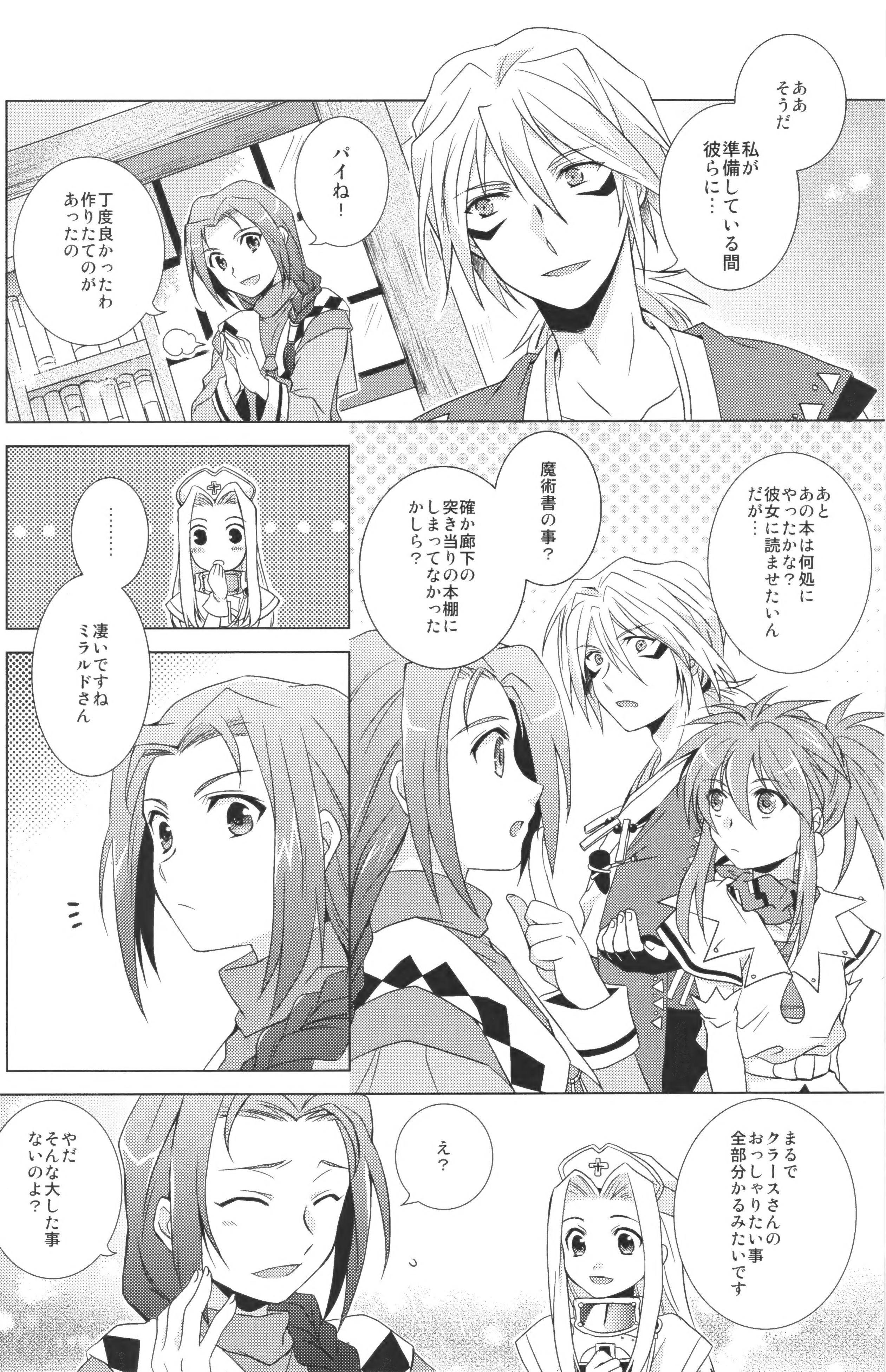


ユークリッドデイズ
Euclid Days
クラース×ミラルド
アンソロジー



CONTENTS


帰ったぞー
あら
おかえりなさい
早かったのね
おじゃまし
まーす
ぞろぞろ
以心伝心しよう
瀬田
なぁに？
やっぱりこの人
使えなくて
返しに来ちゃった？
新しい子増えてるし
一時帰宅だ！
思った以上に
長旅になりそう
だからな
必要な物を
まとめに戻っただけだ
はいはい
そうなるだろうと
思ってある程度
荷物をまとめて
おいたわ
後で確認して頂戴
そ、そうか
悪いな
ごめんなさいね
にこ…


ああ
そうだ
私が
準備している間
彼らに…
パイね！
丁度良かったわ
作りたてのが
あったの
あと
あの本は何処に
やったかな？
彼女に読ませたいん
だが…
魔術書の事？
確か廊下の
突き当りの本棚に
しまってなかった
かしら？
………
凄いですね
ミラルドさん
まるで
クラースさんの
おっしゃりたい事
全部分かるみたいです
え？
やだ
そんな大した事
ないのよ？


何かコツとか
あるんですか？
そんな大層な
もの無いわ
あの人が
単純なだけ
長く一緒に
いるとね
何となく
分かるようになって
きちゃうのよ
あなた達なら
すぐなんじゃ
ない？
えっ!?
初期トライアングラー
そ　そんな
私は
別にその、あの
…
?
カカ～


あれ～？
クラースもう
準備いいの？
あ、ああ…
まあ大体は
済んだんだが…
…あら
クラース
もしかして
寝室に置いてあった
例の本を
お探しなのかしら？
ギクゥ
なっ!?
何の事だ?!
何の話か私には
サッパリ…
ゴゴゴゴゴ…
ハハハ
まだクラースさんは
ミラルドさんの言いたい事
ちゃんと
分からないみたいですね
クレスさん…!
そぉねぇ～
ちゃぁーんと
具体的に言わないと
分からないみたい♡
ちょ、おま…!

ユークリッドデイズ
Euclid Days
クラース×ミラルド
アンソロジー




リミッターを解除せよ
三津シイ
ミラルド！
バッ
な…何？
がしっ
今こうやって旅をしてられるのもお前の後押しのお陰だ
お前が私を支えてくれた日々ふぁあったたかいも…
わしにはおあえ…わたしにあっ…


とにかく!!!
クラース あなた 飲んでるんでしょ?
うむ
~あなたは全く… 昼間っから何やってるのよ
いやその… これは
………
悪かったな
あっ ちょっと


そうやってすぐヘソ曲げるんだから…
…別に
でも
ありがとう
嬉しい
あ…
ああ…
今度は素面のとき言ってね♡
あーんー…


未来へ渡る不安もあり
色々とけしかけられ
酒の力を借りた
シラフで…言えるだろうか
あのお嬢さん達に何か言われでもしたのかしら
まぁ、
もう少し待ってみるとしますか


クラースさん！
聞いていいですか
戦闘中だぞ
一つだけだ
じゃあ
ひとつだけ！
僕たち いつまで
かにと闘えば
いいんですか
?!
伝えるべきは
イヅミ


決まってるだろう
トレジャーハンターの
称号を得るまでだ
ってオイ　それ
旦那専用の称号じゃねえか
マニアかよおっさん！
おっさん言うな
あった！
最後の宝箱
!!!
やったぁ!!
中身は
何だ?!
ぱか！

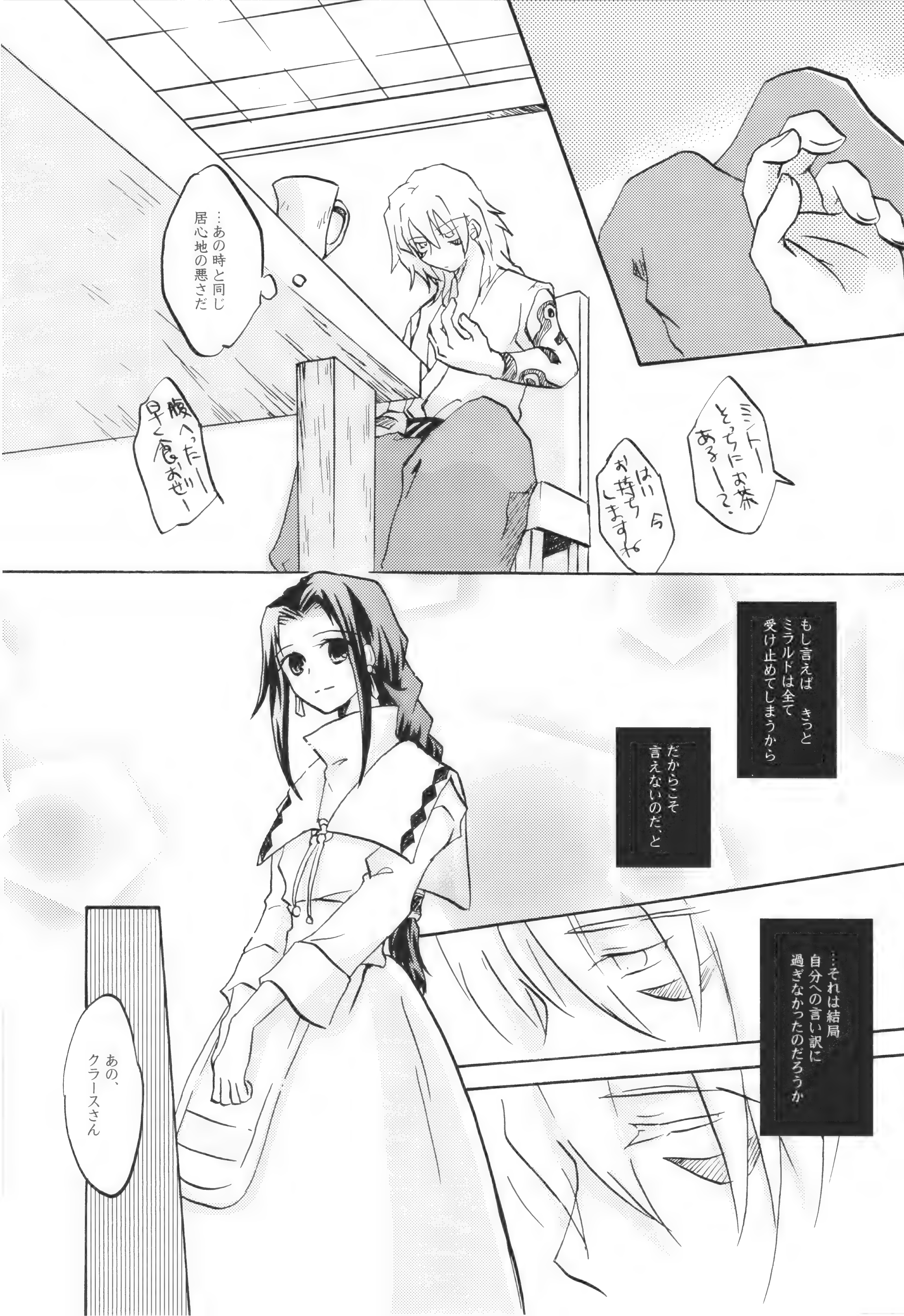

皆さん
本当にありがとう
ございました
…そうでしたか
これが
アイフリードの
真の宝———
いやーしっかしさぁ
世界を又に駆ける
海賊の遺産が
カミさんのドレス
だったなんてなぁ
なんつうか女々しいよな
まぁまぁ
ロマンじゃないか
ぱさ

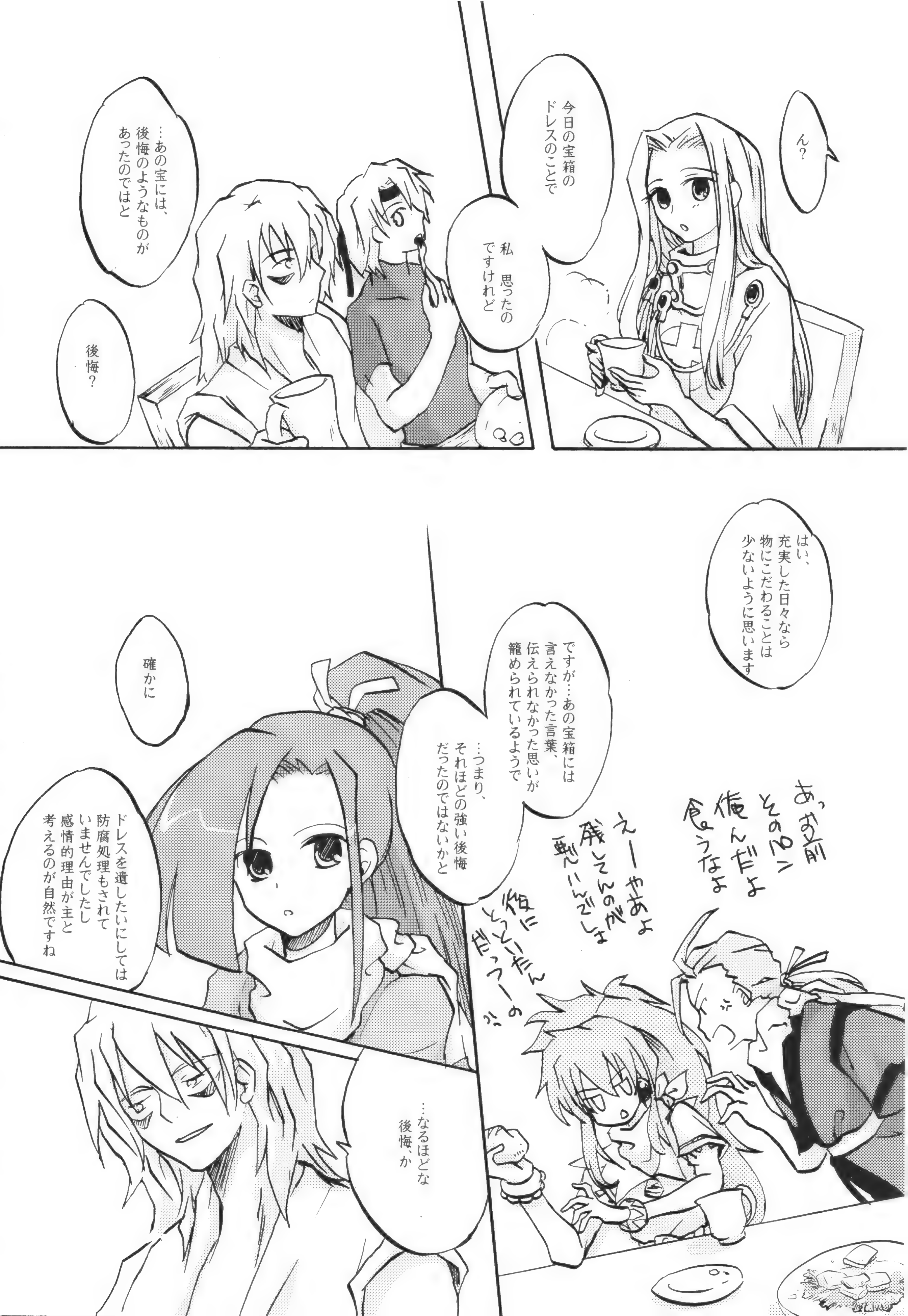

……
すず
この時代に アイフリードの 資料はあるのか?
いえ 書物自体 多くはなく、また 処刑したヴァルハラ軍に よるものが殆どです
…そうか
何せ海賊ですし、何かを書き残すという 習慣がなかったのかも しれません
なので あまり良いことは 記していないかと
どうか されたのですか?
ああ いや
他の宝箱と違って あれだけが子孫の利に ならないものだった
どうして ああやってわざわざ 遺したのかと、な…


カチャ
カチャ
カチャ
……
…どうして
言ってくれなかったの？


あんな危険なところ…
まさか一人で行くなんて
……
クラース、ねえ聞いて
言わないことが貴方の意思なら構わないけれど
「言えない」のならやめて頂戴
ぎゃ


その口は何のためにあるの？
お酒を飲むためだけ？
悪態をつくためだけ？
そうじゃないでしょう？


ミントー そっちにお茶あるーって?
はい! 今お持ちしますね
…あの時と同じ居心地の悪さだ
腹へったー! 早く食わせろー
もし言えば きっと ミラルドは全て受け止めてしまうから
だからこそ言えないのだ、と
…それは結局自分への言い訳に過ぎなかったのだろうか
あの、クラースさん


ん？
今日の宝箱のドレスのことで
私 思ったのですけれど
…あの宝には、後悔のようなものがあったのではと
後悔？
はい、充実した日々なら物にこだわることは少ないように思います
ですが…あの宝箱には言えなかった言葉、伝えられなかった思いが籠められているようで
…つまり、それほどの強い後悔だったのではないかと
確かに
ドレスを遺したいにしては防腐処理もされていませんでしたし感情的理由が主と考えるのが自然ですね
あっお前そのパン俺んだよ食うなよ
えーやあよ残してんのが悪いんでしょ
後にとっといたんだっつーの
…なるほどな
後悔、か


なんて
小説の読みすぎでしょうか
ふふ
いや
古風な男なら
あり得るんじゃないか
でもさー
死んでから
後悔されてもね！
言いたことが
あるんなら
生きてるうちに
言えっつーの！
後悔もある意味
自業自得っつーか
まさに
航海
だけにね


うわ〜〜〜い
天使の大群のお通りだ〜〜い
…おやすみなさい
パタン。。。
ごそ


ただ後悔するだけの男になる前に
…私も伝えなければならないということか
え～クラース なにこれ！ おニューの指輪～？
ひょい
ちょ…おま！
なになに 恋バナ？ プロポーズ？ アーチェさん全力で聞いちゃうよ!!
前門のアーチェ
後門のクレス
クラースさん まだ精霊と契約するつもりなんですか…？ 早くダオス城行きましょうよ
ジャキッ





↑ ついでにモンスター図鑑コンプしようとした人

ユークリッドデイズ
Euclid Days
クラース×ミラルド
アンソロジー




ミラルドさんってどんな人？
イチャ
イチャ
ミラルド！あいたい！！
ファッ
オリジンミラルドみしてっ
クラース・F・レスター
月1って約束だろう
ケチ！
ミラルド～
いよ
なーミラルドさんってどんな人なんだ？
とても頭がいいんですよ^^
クラースさんと幼なじみなんだ！
めちゃ美人だよ！
え


聞いた特徴からして
いやもっとこう見た目的な…
こんな感じでしょうか
激似!!!
ミラルドおおおおおおおおおおおおお
ブチブチ
バッ
ていうかすずいちゃんも会ったことないよね
どういうことなの
旦那やるなー
ずりー
流石忍者！ですね

終！

【アンケート結果発表】

2013年6月下旬、当アンソロジー告知サイトにて
クラミラについてのアンケートを実施しました。

沢山の楽しいご回答、ありがとうございました!

ユークリッドデイズ
Euclid Days
クラース×ミラルド
アンソロジー

Q. クラミラで好きなシーンや関連タイトルは?

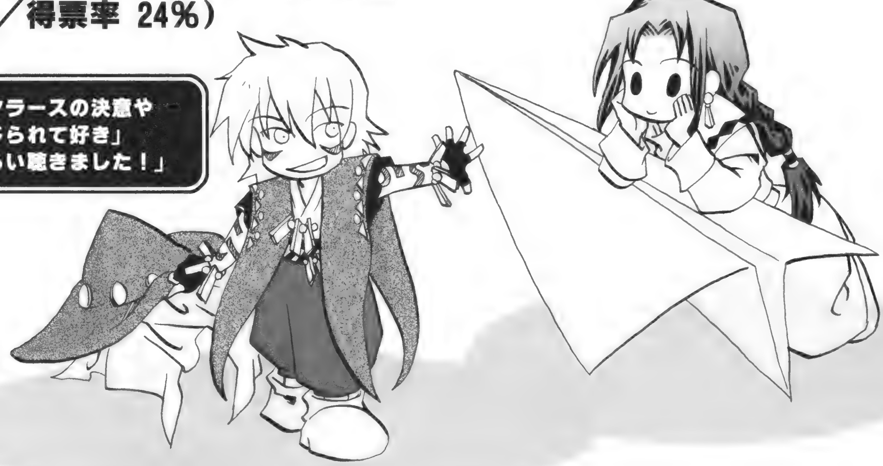
1 ゲーム本編・決戦前夜のアーリィ
（10票／得票率 27%）



投票コメント：
「えんれんのひと…ロマンです」
「照れながらオリジンに頼むクラースが可愛い」

2 ドラマCD・「Anthology1／4192年の紙飛行機」
（9票／得票率 24%）

投票コメント：「クラースの決意や二人の固い絆が感じられて好き」
「数え切れないくらい聴きました！」



3 ドラマCD・なりきりダンジョン　太陽の章
（6票／得票率 16%）

その他

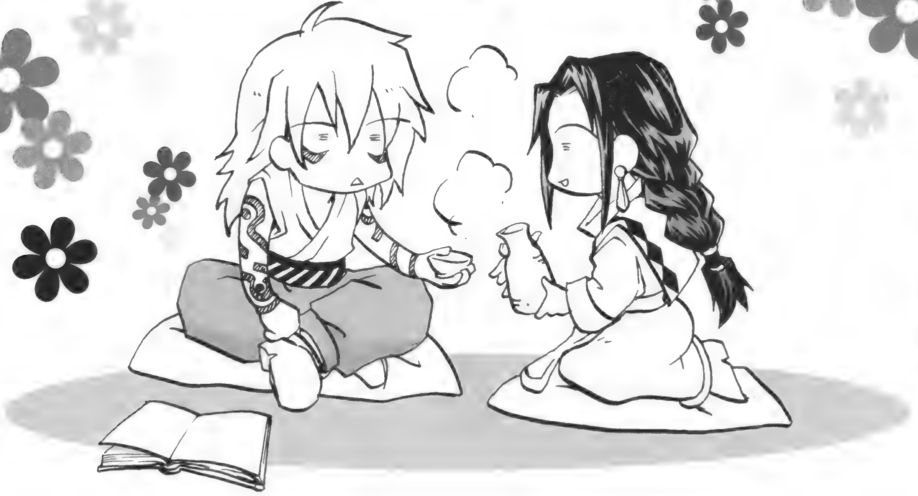
クレスたちと初めて会った場面
シルフと契約後の自宅での会話　　（各5票／得票率 14%）

未来ユークリッドINN
「しあわせもの」称号サブイベ（GBA版・PSP版）
（2票／得票率 5%）

Q. クラミラの二人に称号をあげるとしたらどんな称号？

1 じゅくねんふうふ
（10票／得票率 48％）

投票コメント：
「若いのに既に熟年の域」
「ツーカーの仲っていいですね。憧れます」



2 かかあてんか
（5票／得票率 24％）

投票コメント：
「しりにしかれマンですから…」
「一生頭が上がらないんじゃないかな」



3 ににんさんきゃく
（4票／得票率 19％）

割れ鍋に綴じ蓋
（2票／得票率 9％）

Q.

あなたはユークリッド村の住人です。
ある日歩いていると、揃って出かける二人を
見かけました。何と声をかけますか？



Q.

これはクラミラっぽい！という曲は？

♪ long time no see　／井上和彦
♪ なにしてんの　／SURFACE
♪ 輝く月のように　／Superfly
♪ あなた　あたし　／笹川美和
♪ 夢の終わりに　／The Alfee
♪ 予感　／吉田由香里
♪ 私にできること　／KOKIA



投票コメント：「井上さんのCD、もう声だけでクラース!!歌詞も甘々な感じで、えっ、これがクラースの本音～！？みたいな(笑)」

「SURFACEの『なにしてんの』。研究にくすぶっているクラースさんに焦れて、ミラルドさんがお説教しているようです(笑)」

クラミラのこんなところが好き！ハマったきっかけなどは？

★離れていても信じていられるところとか、お互いに指示語だけで通じ合う仲がいい！
見ていて安心できるCP。

★ハマったきっかけはシルフと契約した後にミラルドさんに報告しに行った時。
信頼されているのがよくわかる場面で、**ミラルドさんに惚れた**ところでもありますww

★井上さんの声でハマったのがきっかけでした。
大人の恋人同士の雰囲気がたまらなくて、キュンキュンしてました(笑)

★クレスたちと会った時のやりとりを見た瞬間に **「これは……すごくいい夫婦……」** となりました
本編中の、結婚していないのがおかしいような、二人の思いが通じ合っている感じがたまらないです！

★**気がつけば愛。**

★研究で切磋琢磨して学会でいろんな事もあって挫折もあってそして尻に敷かれるクラミラ大好きです。
ドラマCDの紙飛行機の場面が本当に大好きすぎて…！ **一刻も早く結婚してください。**

★きっかけは特に無かったように思います。
何となくいいなと思って、それが今もいいなと思えてるところが好き。

★クラミラにハマって十数年（笑）。
いまだに好きでいてくれる方々がいて、とても嬉しいです。

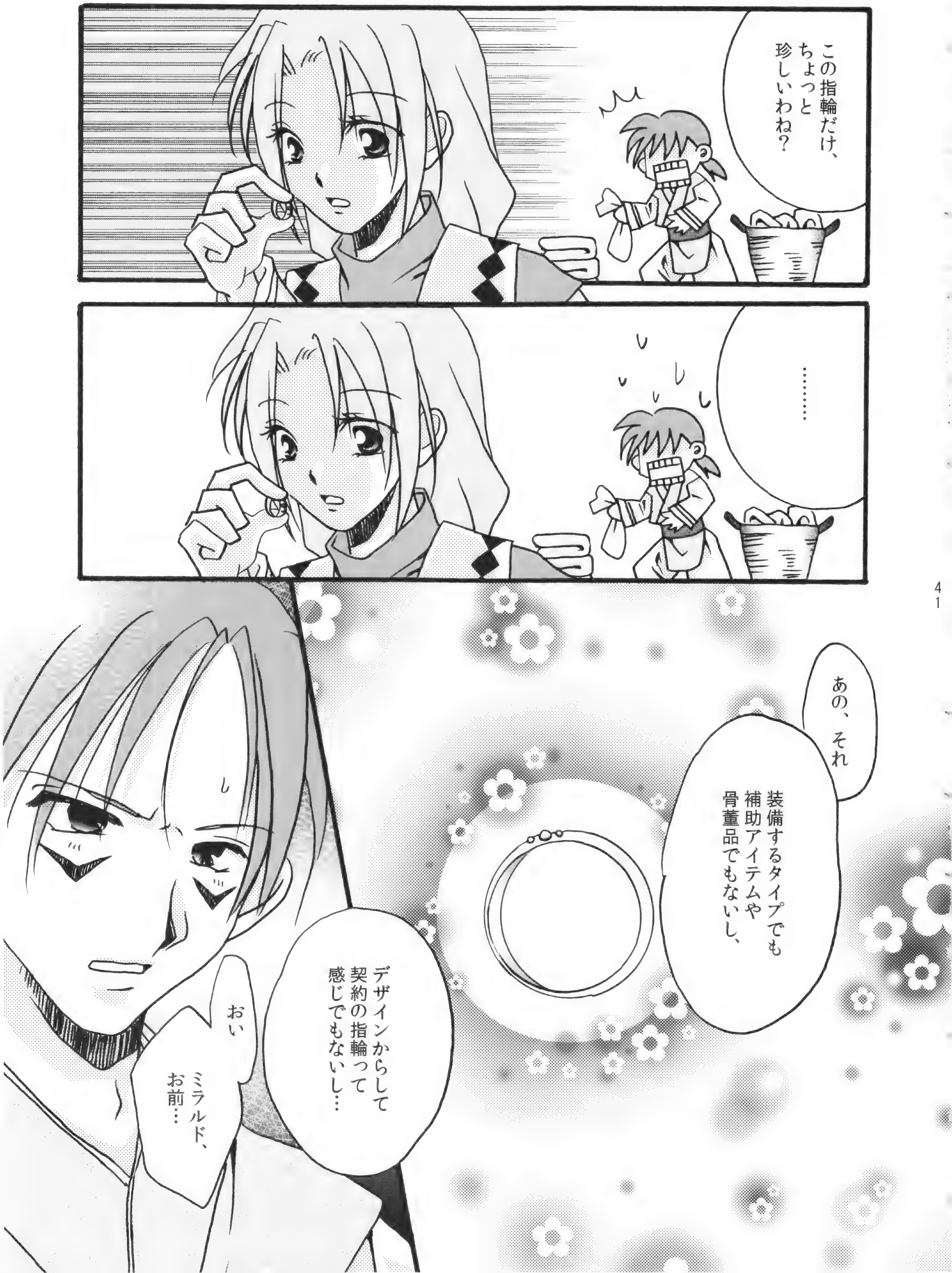
★**末永くお幸せに…！**

コメントは一部抜粋させていただきました。
沢山のご回答とコメント、本当にありがとうございました!!


Honeymoon 高槻きく丸
感動の
再会の後には
かつて回復アイテム
だったらしきもの
パン
…
もぉぉぉぉ
やだぁぁぁぁぁぁぁ！
旅の後片付けが
待っている
わけで…
片づけても×8
おわらないんですけど！



クラース、あなた帰ってきた時…
きっ
未来のものはほとんど向こうに残してきたよ
歴史を変えてしまう恐れがあってはいけないからな…
どやっ
…なんて言ってたわよね
使い古した装備やら道具やらガラクタゴミなら
かまわないって言うのかしらぁぁ？
…ごめんなさい俺もやります…
まったく…男所帯でミントさんも苦労したでしょうね…
おい、一応アーチェもいたんだが…
あら？


この指輪だけ、ちょっと珍しいわね？
……
あの、それ
装備するタイプでも補助アイテムや骨董品でもないし、
デザインからして契約の指輪って感じでもないし…
おい
ミラルド、お前…

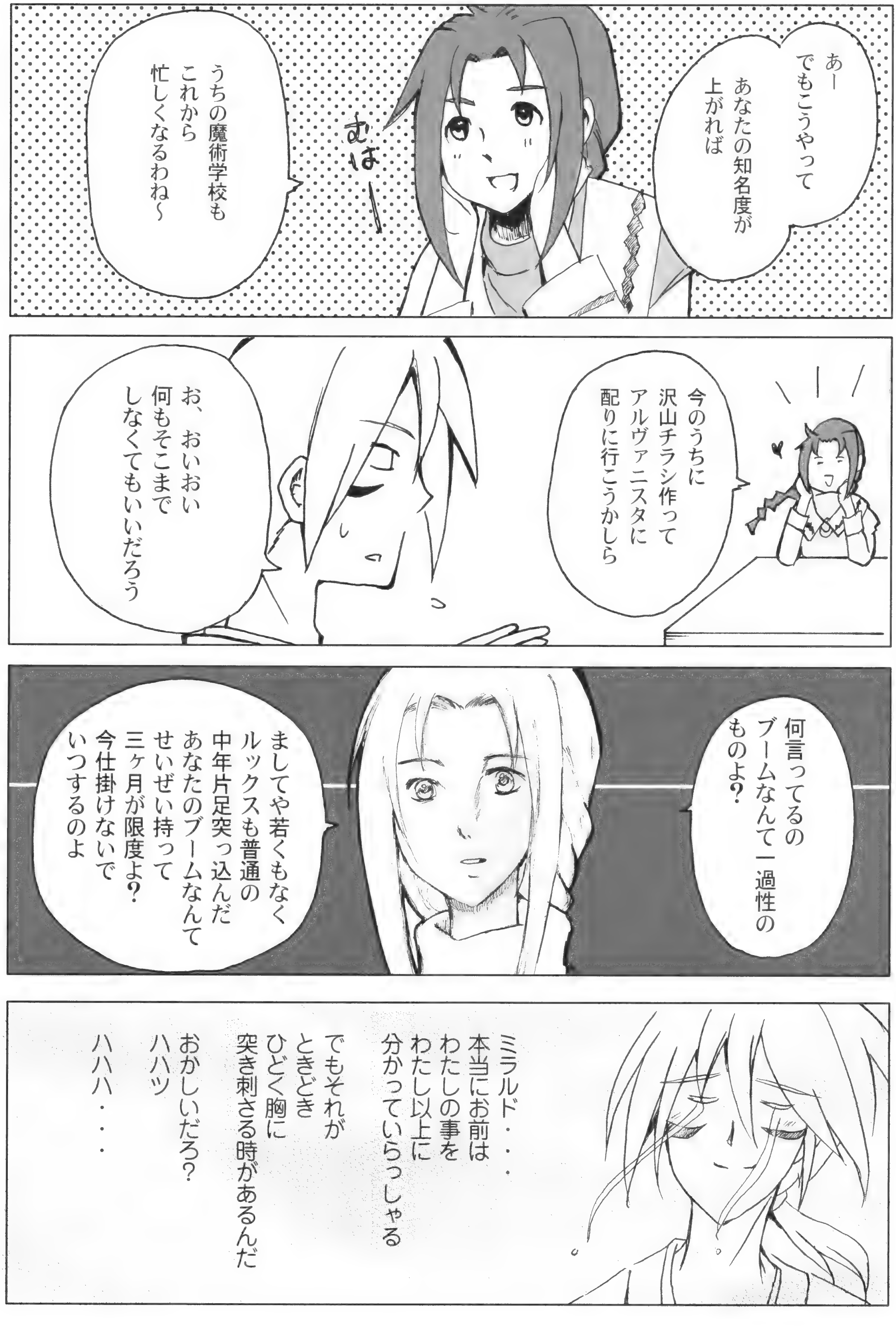

だって、これは、
はっ
色々なものの証であるわけで
「彼が無事帰ってきた」
「あの戦いの日々の中、私の事を心の片隅に置いていてくれた」
「彼の心に『未来』があった」
れっきとした
……と
とりあえず…
顔、にやけてるぞ
これじゃ雰囲気もへったくれもないから
改めて機会を設けましょう?
…しっかりしてるな…
さっ

その後の二人

描いた人：マッハ☆なめみそ



その2



あー でもこうやって あなたの知名度が 上がれば
むはー
うちの魔術学校も これから 忙しくなるわね～
今のうちに 沢山チラシ作って アルヴァニスタに 配りに行こうかしら
お、おいおい 何もそこまで しなくてもいいだろう
何言ってるの ブームなんて一過性の ものよ？
ましてや若くもなく ルックスも普通の 中年片足突っ込んだ あなたのブームなんて せいぜい持って 三ヶ月が限度よ？ 今仕掛けないで いつするのよ
ミラルド・・・ 本当にお前は わたしの事を わたし以上に 分かっていらっしゃる
でもそれが ときどき ひどく胸に 突き刺さる時があるんだ
おかしいだろ？ ハハッ
ハハハ・・・

その3


ギャル――ッ
それでぇ〜 わたしたちクラース様に 魔術学を教えてもらいたいん ですぅ〜
アハーン♥
ウフーン♥
クラース様 こちらにいらっしゃるん ですよねぇ〜?
受講料は 前金で一人 10万ガルド
二人合わせて 20万ガルド!
パタン
ガチャ
えぇ― そんなに 払えねぇ
おまえ それ・・・・
私がクレス達と 初めて会ったときと 同じセリフ・・・・ 確かお前、こっぴどく私を なじったよな?
ひっ ひやかし お断りっ!

45

その4


ガラーン
ブームも去って
学校も
この通り、か…
寂しいものね
まあミラルド
クラース…
ポン
いいじゃないか
私はこれで
良かったと思ってるよ
それに…
私には
ミラルドがいれば
それで十分だ
き
決まったあーっ!
わあっ
それでどうやって
生活していくの
ようーっ!
あっ
ですよねー
その後彼は
学会からも総スカンをくらい
酒浸りの毎日を送るように
なるのだが・・・
それはまた別の話
(なりダン参照)

おわり

やっぱりしりにしかれマン

シャチ




ギャアアアアア
し…死ぬ
ぐり ぐり ぐりっ ぐりっ ぐり
う～ん…
イマイチね
や、やさしく
してくれ…
クラースは『激しりにしかれマン』の称号を得ました
ぎゅっ ぎゅっ
うわぁ～
肩ゴリゴリよ、クラース


クラース先生、まだ帰ってこないの？
じゃあ行ってくる
絶対帰ってくる
時空を超える？
本当に大丈夫なのかなぁ
クラース先生 今ミッドガルズにいるらしいわよ
ミッドガルズ？ この間魔物が…
大丈夫よ
クラースは絶対帰ってくる
？
ミラルド？


ミ、ミラルド？
……よかった
クラースがちゃんと帰ってきた…
私は言ったぞ絶対帰るって


うん、信じてた
改めて
おかえりなさい
クラース
ただいま
あ!


なんで忘れてたのかしら
この間買ったのよー！
肩凝り解消グッズ！
じゃーん
ぐりぐりノームさん
この沢山のノームさんが
くまなく刺激をしてくれる
からとーっても効く
らしいのよ
は…はぁっ？
ギャアアアアア
とっても効いたので
もう勘弁して下さい
買って良かったわ
流石レイオット商会製ね♡
クラースは『究極しりにしかれマン』の称号を得ました


クラースさん
おかわり
いかがですか？
ふたりの家／迎ゆえ
クラース？
どうかした？
何か
入ってた？
入れ直すて.
あ…
いや…
今
クレスの声が
聞こえたよ…
長くはないが
常に行動を
共にしていたから
やはり感覚は
残っているらしい
まったく
脳というものは
厄介だな


…寂しい？
はは…
私がそんな人間に思えるか？
…そうね
あなたはそういうの決して表に出さないものね
皆さんの前では私もどうせぞんざいな扱いしかされてなかったんでしょうね
……いや……
そういえばミラルドはずっとここに居たな


思い出す時は
いつも
この家で
待っている
姿だった
まったく
我ながら
薄情で
自分勝手な…
その…
期待にそえなくて
悪かったな
…期待なんて
してないわよ
それより
ちょっと自惚れて
るんじゃない？
ずいっ
ねぇクラース
あなた自分で
何を言っているか
わかってない
でしょう？


私がここで
ずっと待ってるとは限らないわよ？
…そりゃどーもスミマセン
それって私にここで待っていて欲しかったって事でしょう？

テーブルの上に置かれた大きな酒瓶は、アーチェの手土産だった。彼女曰く、今年のプラムは大変出来が良く、これならば流石に不味くはならないだろうと踏み、ミラルドに教わった方法を実践してみたらしい。
　確かに、今年の天候は、果実の実りには最適なもので。実りを忘れかけていた老木にまで、まるまるとした恵みが宿ったほどである。
　大地の恵みたちを悪戦苦闘の末――などというと、まるで、一戦交えたようなのだが。アーチェにしてみれば、魔物との戦闘の方が、遙かに気が楽だと零して仕舞いかねない現場の惨状だった。
　ともあれ、数ヶ月前の苦労を噛み締めながら、いそいそと出来上がったプラム酒を呑んでみたところ、その出来たるや、満足の更に上をいく、称賛に値するものだったのだ。過剰ではなく、呑んだ者皆、美味いと絶賛するのは間違いない、と。
　同時に、浮かんだのは、ミラルドの顔。楽しみにしている、と笑んでいた、プラム酒の師に呑ませない手はない、と思ったのである。
　教わってから三年。己の不精の所為で、なかなか実行に移せずにいた詫びも兼ね、一緒に楽しい一時を。
　アーチェは、酒瓶の蓋を厳重に紐で縛り付けると、大荷物を運ぶ要領で、箒へ吊るす。低空飛行にて安全を確認してから、軽快なる鼻歌混じりで空高くへと舞い上がった。

空と風

一沙

アーチェ自慢のプラム酒は、ミラルドから、満点じゃ足りないくらいね、との大絶賛を受ける出来であった。
　上機嫌となったアーチェは、お前にしては上出来じゃないか、と笑ったクラースへ反発せずに、でっしょぉー！と胸を張って返したのは、数時間前。
　ミラルドの手料理も加わり、宴酣。美味い酒と美味い料理を囲んでの一時には、笑みが絶えない。
　それから、暫く。談笑の合間でのこと。
「……んぁれ？　なんだ、もう無いのか」
　酒瓶を左右へと振り、クラースが、呟いた。
　逆さまにして再度振るが、酒は、一滴たりとも落ちてこない。片目を閉じ、中を覗き込んだ後、不機嫌極まりない表情となる。それから、双眸を半眼とすると、テーブルを挟んだ向かい側にて、アーチェへチキンの香草焼きを取り分けていた人物の名を大声で呼んだ。
「おいっ！　ミラルドっ」
「なに？　どうかした？」
　顔を転じたのはミラルドだけでなく、その横に居たアーチェも共にで。何事か、と瞳を瞬かせていた。

対するクラースは先よりも幾分か不機嫌となり、不満の色を濃くさせるように唇を尖らせる。まるで、駄々を捏ねる子供にも似た様相となり。

「どうかしたから、呼んだんだ。酒が無くなったぞ。買って来いっ！」

言って、びしりと扉を指差した。

横暴とも取れる態度に眉根を寄せたのは、アーチェ。こんな夜遅くに何を言っているんだか、と胸中で零し、ついと双眸を見据える。

ここは、がつんと己が言わなければ、と。

「クラースが、呑み過ぎなの。ミラルドさん、酔っぱらいの言うことなんか、ほっぽっといていいからね」

いーだ、とクラースへ歯を剥いて見せると、ミラルドへ視線を移した。皿を受け取りながら、水でも飲んでればいいじゃん、と付け加え、更に、酔いも醒めるし、と続けた。

突如投げ込まれた火種へ、即座に反応したクラースは、テーブル上に身を乗り出させ。

「だーれが、酔っぱらいだっ！　そもそも、お前が遠慮せずに、がばがばと呑むから、私の分が少なくなってだな」

先程までの、呂律が回らなくなった口調は、どこへやら。アーチェの手土産だったことも忘れ、赤らんだ頬へ怒りを上乗せし、熱弁を振るおうとしたのでる。

刹那、二人の間へ割って入ったのは、他ならぬミラルド。それぞれを制するように、顔よりも少し離れた位置に手を広げ置くと。

「はいはい。そこまで」

教え子達の喧嘩を仲裁する時と同じ仕草なのだが、当の二人は、そんな事とは露知らず。僅かに驚きを覗かせ、まじまじとミラルドを見やっていた。

静止した二人に、安堵したのか。ミラルドは、唇の両端を軽く持ち上げる。そして、アーチェへと向き直り。

「クラースのこと、お願いね」

告げると、財布を手に取ったではないか。手早く身支度を整える彼女へ、アーチェは、思わず席を立ち。

「でもっ」

「すぐに戻るから」

笑みを残し、足早に、ミラルドは酒を買いに出て行ってしまった。

行く必要などない、と続けるはずであった言葉を呑み込んだアーチェは、ぐるり、と勢い良く身体を反転させた。それから、へらへらとした面持ちで、手を振りミラルドを見送っていたクラースに半眼を投げ付ける。

向けられた眼差しの鋭さに、多少気押されつつも。

「？　なんだ、その目はっ」

暗に、己は悪くない、との意を示すクラース。

アーチェは、鼻よりも高くなりそうなほどに唇を尖らせた後、ぷいっと顔を背けた。

「べっつにー」

不満が滲み出る態度には、これでもかと棘も出ている。

流石に、クラースも勘付いたのか。声色を低くさせ。

「言いたいことがあるのなら、はっきりと言え」

場に流れたのは、一触即発の空気。

と、アーチェの脳裏に、ミラルドの姿が過ぎった。己達の言い争いを留め、急ぎ出掛けて行ったにも関わらず、喧嘩が勃発している現場へ帰って来たとしたら……。

だめ、だめ、そんなの。ここは、素面のあたしが大人にならなきゃ。

　酔っぱらい相手では、所詮、暖簾に腕押し。となれば、話を逸らせるより他はない。ぐっと、沸き上がっていた怒り含みの科白を奥底に押し込め、代わりに告げたのは。

「クラースみたいな男に、ミラルドさんのようないい女、勿体ないなぁーって思っただけ」

　話題転換された、とは、どうにも言い難い代物ではあるも、クラースの興味は逸れたらしく。

「……いい女、か」

　ぽつり、と呟き、口角を持ち上げた。

　ほろ酔い加減も手伝ってか。やんわりと目尻を下げ。

「そうだな。ミラルドは、いい女だ」

　頬杖を付いての表情は緩みきっており、にやけた面そのもの。顔面総崩れ、と呼べるもので。アーチェは、思わず、目を丸くする。

　今まで幾度か、訳の分からない説明口上と共に、彼の自慢げな顔を見てきたが。このようなものには、初めてお目にかかったのだから、驚くなという方が無理かもしれない。

「アーチェ。知っているか？」

　半ば呆けている彼女に向かって、クラースは、双眸をすいと細めると。

「いい女にはな、いい男がいる」

　ふふんと笑ったのを見、完全に呆けてしまったアーチェ。

　この男は、何も言っているのだろうか？　まさか……。

「自分がそうだ、って言うんじゃ」

「そう！　そのとーりっ！」

　どうだ、といわんばかりの態度を前に、アーチェは、あんぐりと口を開けたまま、頬を僅かに引きつらせる。てっきり、どれだけミラルドがいい女であるのか、を語り出すと思っていただけに、狐に摘まれた心境で。とんだ肩透かしに、期待を裏切られた気分で一杯になったのだ。

　しかし、クラースは、そんなアーチェの心境など知る由もなく、高らかな声色にて、更なる雄弁を振るっていたのだった。

「いい女に、いい男。どうだ？　お似合いだろう？」

　言い終わるや、小さな忍び笑いを零し出したではないか。

　どうしよう。だんだん、手に負えなくなってきた…かも。

　何がそんなに可笑しいのか、と突っ込みを入れたくなるクラースを一瞥し、アーチェは、先程潰えたささやかな期待を叶えるべく、敢えて、直球で攻めてみた。

「クラースってさ。ミラルドさんのどういうとこが、好きなの？」

　機嫌は良い――むしろ、良過ぎるくらいなのだから、案外、簡単に乗ってくるかもしれない、と踏んだのである。

　が、クラースは、じんわりと眉根を寄せ。

「あぁー？　どういうとこ、とは？」

「だーからぁ、クラースにとって、ミラルドさんってどういう存在かなぁって思って」

脈絡が無かっただろうか、と思う反面、話の流れとしては、さほど違和感が無いといえなくもなく。ともあれ、このままごり押しをしてどうにかならないだろうか、とアーチェは、クラースの反応をみた。
不審がっているのか。一方のクラースは、顎に手を当て思考を巡らすような仕草をすると、疑問を一つ。
「聞いてどうする？」
もっともな問い掛けに、アーチェは、うっかり口籠もってしまった。しかし、ここで引いてしまっては水の泡、とそれ相応の理由をどうにか考え出し。
「ええっと、クラース自慢のミラルドさんについて教えて欲しい、というか……」
と、クラースは、ふむ、と呟き、唇に曲線を描かせる。
どことなく、嬉しそうな表情となっているのを見、内心にて歓喜に沸くも、どれが功を奏したのか、いまいち分からずにいた。けれど、この際、細かいことは置いておこう、と放たれる言葉を今か今かと待つアーチェ。
「そうだな……。空、だ」
まるで、噛み締めるような声色。それと対照的に、アーチェが発した声は、間が抜けていた。
「は？　空？　空って？」
上を示した指。もちろん、天井の事ではない。
更に先を示している表情は、声と同じく、少々間の抜けたもの。一方のクラースは、壮大な夢でも語るかのように、続きを話し始める。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

時に晴れ、時に曇り、時に雨となり、そして、雷を落とす。ある程度予測は出来ても、全てではなく、突発的な部分は消えない。見ていて飽きない。飽きさせない。
蒼い髪は、果てなく晴れ渡る空の色だ。光によって、藍へと塗り替えられるのも悪くない。瞳の色は、太陽。明け方、昼間、夕方と、どれもが鮮やかな印象を焼き付ける。光を遊ばせるさまは、星を浮かばせた夜闇のようで。
何処に居ても、必ず、変わらずに在る。ふと目を向けた先に、な。遙か遠くにありながら、何よりも近くに感じられる。そう思わせる女だ。
「……それで、空」
「ああ。いい女だろう？」
言って、クラースは、破顔した。
知らない顔だ。アーチェは、そう思った。
似たものを目にしたことはあるのだが。あくまでも、同様のものであり、似て非なる表情たちなのである。
「だから……こそ……生涯を賭して……ミ…ラル……ドを……」
そこで、声が途切れた。陶酔を交えての語りは、いつの間にか寝息へと変わり、テーブルに突っ伏したクラースの寝顔は、幸せそうな夢見心地ときている。
アーチェは、ふっと短く息を吐き出すと。
「のろけるだけのろけて、寝るかなー」
などと文句を呟いてみるも、込み上げてくる笑みに口許が緩んで仕方ない。
案外、可愛いとこあるじゃん。

積み重なった想いと心に抱く姿を脳裏に映し出させるような声色は、自身の中に蓄積された知識を自慢気にひけらかす時とは雲泥の差だった。
聞きたかったものを聞き、しかも、見られるとは思わなかったものを見ることが出来たのだけれど。
さて、と。どーしよー……これ。
酔い潰れた者の介抱は、正直、得意な部類ではない。そもそも、己は、毎回介抱される側だ。と、その時。
「ただいま」
天の助け、と表情を輝かせたアーチェは、足早に彼女の元へと向かい。
「ミラルドさんっ。クラース、寝ちゃったんだけど……」
途方に暮れた顔をしているアーチェを見た後、指の示す先へ視線を転じ、ミラルドは、双眸を半眼へ。
「人にお酒を買いに行かせて？　いいご身分だこと」
呟きの零れた唇には、眼差しとは裏腹の笑みが浮かぶ。
日常茶飯事なのだろう。クラースを起こさないように、手際よくテーブルの上を片付ける様は慣れたもので。アーチェが、手伝う、と告げる間も無かった。
丸まった背中に毛布をかけているミラルドへ。
「さっき、クラースが、ミラルドはいい女だ！って自慢してたんだ。んで、自分も、いい男だ！とか言っちゃってさ」
「いい男？　クラースが？」
目を丸くしたミラルドが、怪訝な色を混ぜクラースを見やれば、小難しい単語の寝言が、緩んだ口から転がり落ちている最中だった。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

アーチェは、自分で言わないよねフツー、と小さく笑い。
「ミラルドさんから見て、クラースは、いい男？」
問い掛けを一つ。すると、つられて笑ったミラルドは。
「そうねえ。どうでもいい男だったら、とっくに愛想尽かしてるわ」
いい男かは明言せず、本人が居ないところで誉めなくてもいいのに、と付け加えたミラルドに、アーチェは、先程とは逆の位置づけとなっている言葉を声とした。
ミラルドさんにとって、クラースってどういう存在？
「風のような人よ」
湛えられた微笑みは、新緑の中に在る、あたたかな日溜まりに似ていた。

ほうきに跨り、アーチェは、星瞬く夜空を駆けていた。と、その時。突然、一陣の風が、真っ向から吹き抜けていったのである。
「びっくりしたぁ……」
驚きに双眸を瞬かせ、ぼさぼさになった髪のまま、過ぎた風の軌道を何とはなしに見やった。そして、気付く。
「そっか。だから」
思わず零れた、呟き。

空から吹き下ろして来た風は、再び空へと駆け上がり、消えた。そこが、帰る場所であるかのように。
「……空と風、か」
意図して言ったわけではないのだろうが、的を射ている互いの関係性。
「いい女には、いい男」
ふつふつと沸き起こってくる笑みに、アーチェは、唇の両端を持ち上げる。
「やっぱ、クラースには、もう少し頑張って欲しいかな」
そう言って、アーチェは、飛ぶ速度を増させた。
刹那、ミラルドの言葉が脳裏に木霊する。クラースを風だと告げた、彼女の想いが星明りに照らし出された。

気紛れで気分屋で。掴みどころがなくて。ふいに居なくなったかと思えば、突然やって来て、騒ぐだけ騒いで。でもね、そういうところも、嫌じゃないの。不思議と、この人だから、って納得しちゃうのよ。
風のように吹き抜けたはずなのに、心にぬくもりを残していくから、何度か、狡いと思ったりもしたわ。普段は不器用なくせに、変なとこで小器用で。分かり難い優しさに、笑ったこともある。けど、その笑いを心地よく感じるようになって、愛しく思うようになったの。
……可笑しいでしょ?
アーチェは首を横に振り、可笑しくないよ、と言って、羨ましい、と告げた。
幸せそうで。相手を想い笑む姿が、とても眩しくて。

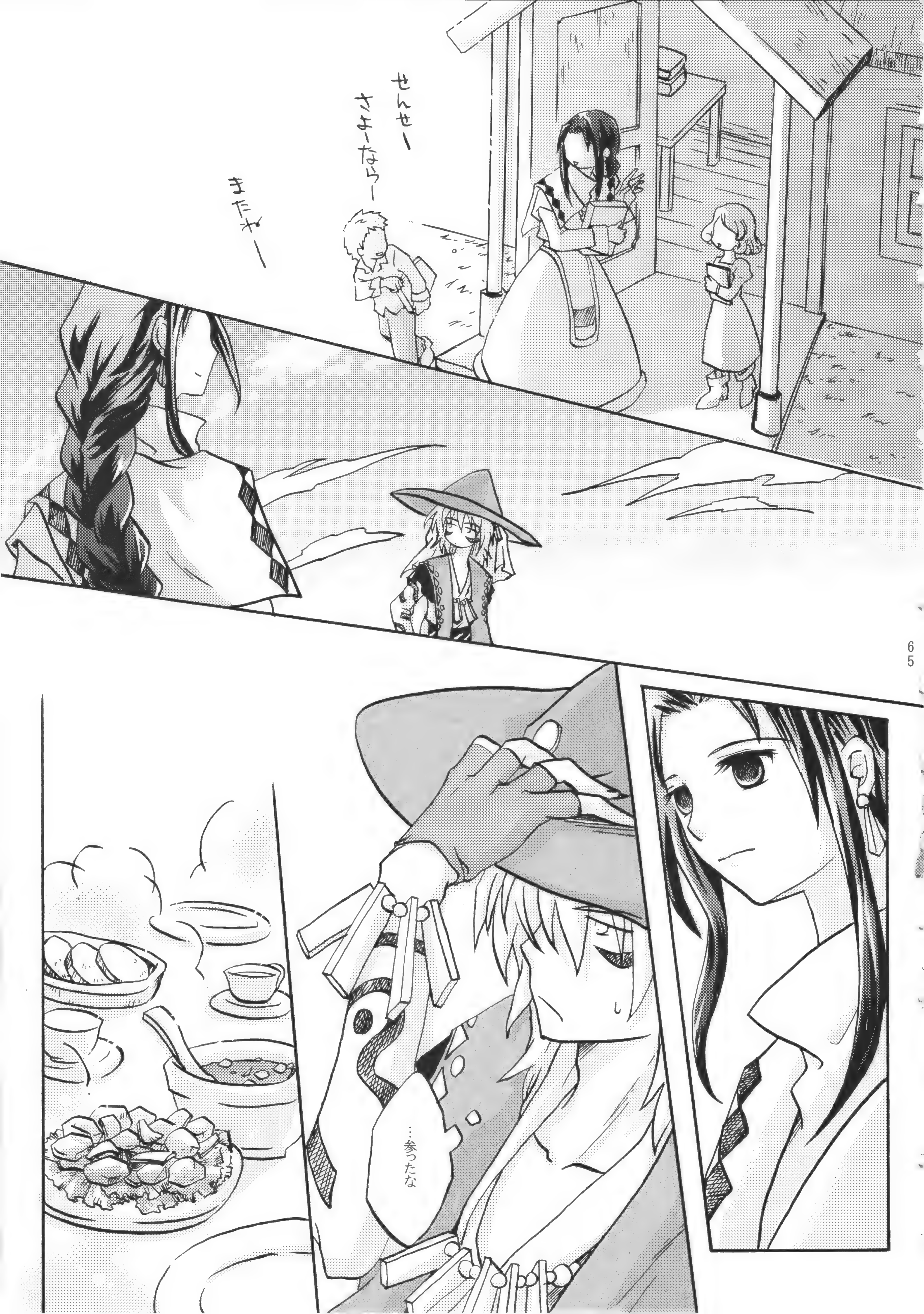
◆◆◆

己も、あんな風に、誰かを想って笑むことが出来たら。
その相手が、この時の先に住む、彼の人であったならば。
ふいに、名を呟く。幾つもの夜を越え、届け、と。
込めた願いは、風に運ばれ空へ。必ず訪れる未来へ、と。

――了――


ある朝
起きると
透明人間に
なっていた
みつけてみつめて
イヅミ
ちょっと どこ隠れてるのよー
朝食冷めちゃうじゃないの―
自分の体も
透けて見えてる…


ダオスを倒し貴方は昨夜精霊との契約を破棄されました
そのため　精霊たちが元の時空に定着するまでのマナ再構成の影響が貴方にも及んでいるものと
理屈は分かった、戻る方法は？
キッパリ
ありません
一昼夜もすれば戻るでしょうでは～
え？ちょえええええ?!!


せんせー
さよーならー
またねー
…参ったな


……
これがチェスターなら
これで女湯覗き放題!!
イヤッホオオウ
しかし実際になってみるとそういう余裕もないもんだな
↑でも少し考えてる
はっ
カタン
ん…ん


……
…ミラルドは毎日
こんな表情を
していたのだろうか
私は彼女に
何と言ってやれば

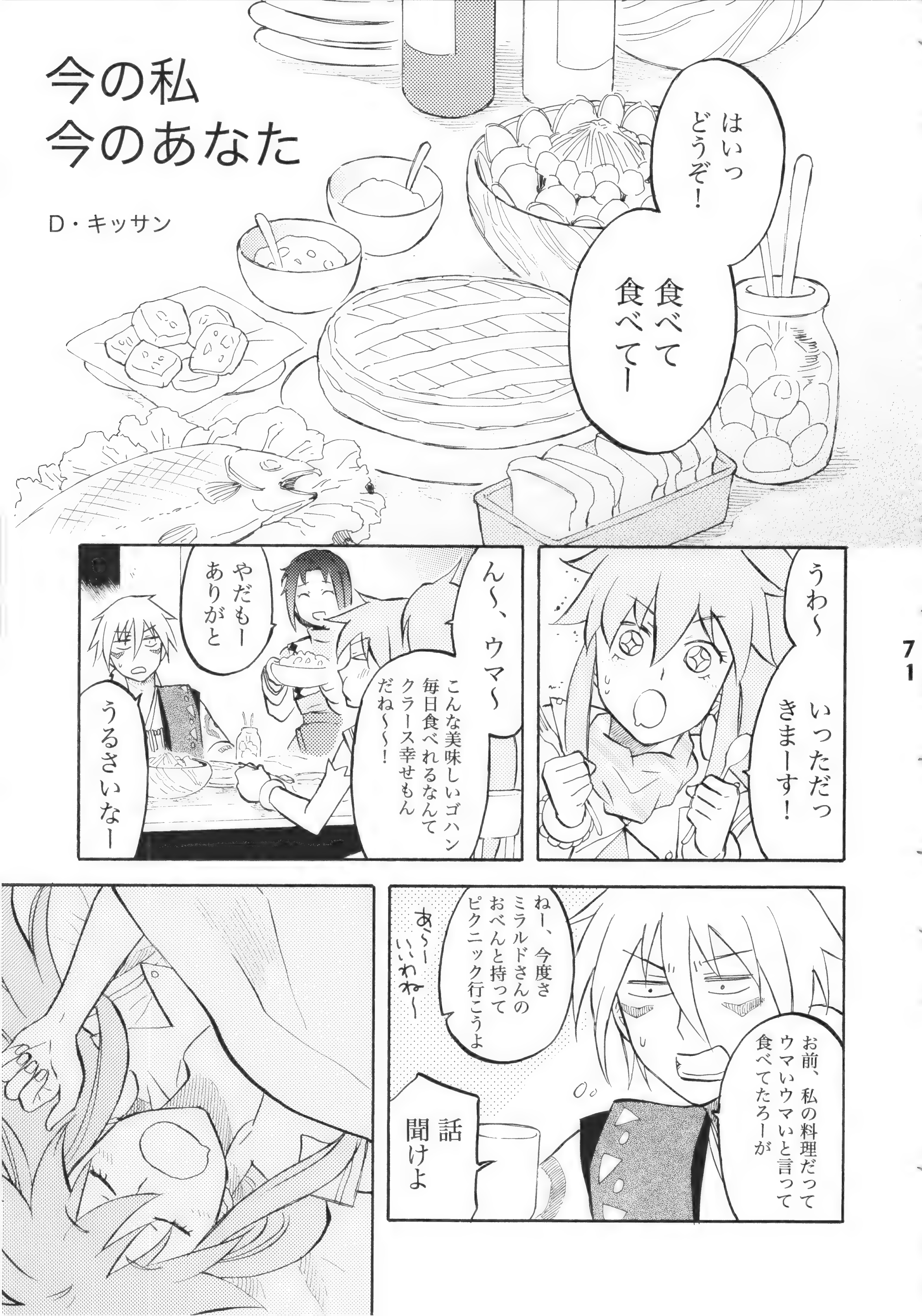

すっく
…ったく
あの人は!
帰ってきて
落ち着くかと
思ったら
いつまで経っても
フラフラと!!
もう
今日という今日は
許さないんだから!!
ぐっ
バサ
バサバサ
ポスター付
保存版!
FOR ADULT
R18


あわ
あわわわ
わわ
8月号
R18
秋 特集
隠し場所なんて全部分かってるんですからね！
もー徹底的に処分してやるんだから！
や
やめ…
たのむ…
やめてくれ――


私のコレクションが
ぱく ぱく
絶版のレア物も
ぱくぱく
たのむなんとか
弱キ ヒいてる シルフ妹たち
いえ…私どもにも何とも出来ませんので とにかく待っていただくしか …残念ですが
ガーン…
誰かなんとかしてくれ―――!!!!
さーて あっちの棚も☆
スッキリ
終。

今の私 今のあなた

D・キッサン




食って喋って食って寝て
子供と変わらん
楽しく過ごしてくれたんなら良いじゃない
…そうだな、クレス達と別れてしばらくはカラ元気で明るく振る舞っていたようだが
最近は無理してないようで良かったよ
カチャ
……
本当に強い子よ
アーチェさんは
ねえ クラース もしも…
もしも誰かが あなたをアーチェさんみたいにハーフエルフにしてくれるって言ったら
あなた、なる？
そりゃあ


あれだけ魔法が使えて人間の何倍も生きることが出来る
勉強も研究もやりたい放題だし、移り行く時代を、技術を、文化を、肌身で感じていける
してくれるんならやってもらうさ
旅に出る前の私ならばな
でも今は
無理だと思う
どうして？
……


一人で生きろって言うのか
お前無しで
私に
…クラース、それは一生涯私のヒモでいたいってこと？
ときどきゴハン作るの交代することでチャラになってると思ってる？
ちがうわ
ガタタッ
お前と一緒に歳とれないのもやだし
お前が先にいなくなるのも嫌だと言ってるんだ！
ハッ


机上の空論だ
やめやめ
コーヒー飲もう
飲むよないれるぞ
はっ、はい
ガツンッ
イッテ！
大丈夫か
ヤバ
かわいい…
めっちゃ出にくい
人をダシにイチャつきおって…
起きました

完



ユークリッドデイズ
Euclid Days
クラース×ミラルド
アンソロジー


約　束
イチタロ
もう またこんなに 散らかして
キラッ
?
クラース!!
バタッ!

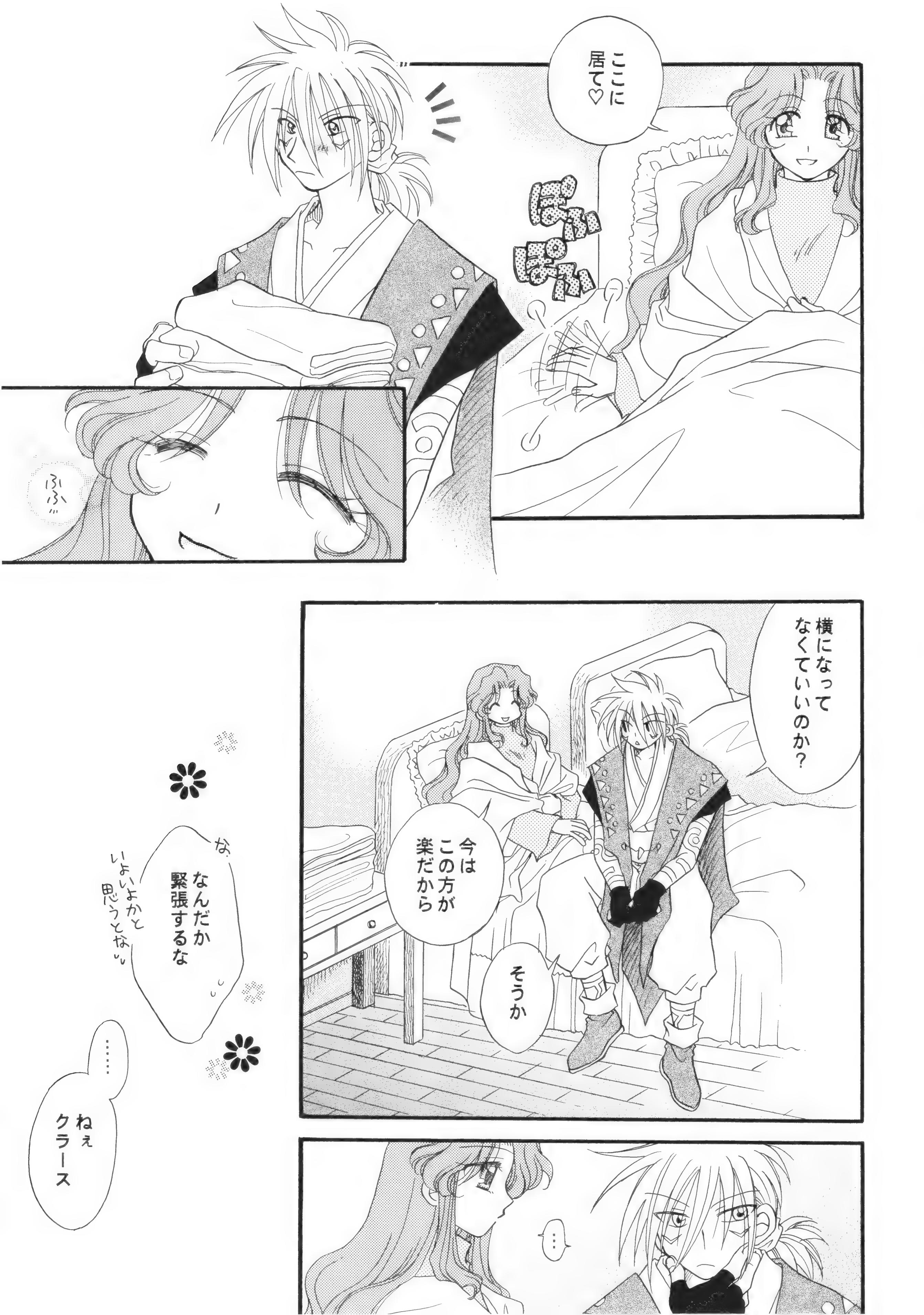

ミラルド
何だ？
何だじゃないわよ
これ！
契約の指輪？
それがどうかしたか？
こんな大切なものその辺に放っておかないで頂戴
失くしたらどうするの
お前がそうやって
見付けてくれるだろ


私は
あなたの
失せ物探しの
係りじゃ
ありません！
すまん
すまん
じゃあ
ミラルド
それお前が
持ってて
くれないか
私？
私が持ってても
使えないわよ
お前が持ってれば
私が持ってるのと
同じことだろう
同じ
…って
一緒に
居るんだから
同じだろう


それ…って
この先も
ずっと
あなたと一緒ってこと？
そっ
そう言うことに…
なるな
そう…
…それに指輪は本来「使うもの」じゃなくて
貸せ
えっ


こうする為にあるもんだろう
するる
ふふ…そうね
それは
小さくてうつくしい
ひとつの約束。


優しさの雫
小杉るな子
じゃあ行ってくるね!
ええお願い
まだ大丈夫だと思うけど…
おっけ〜♡
うちのミラさんこんな人でお〜
ミラルド!
あとは何をすればいい?


ここに居て♡
ぽふぽふ
ふふ…
横になってなくていいのか？
今はこの方が楽だから
そうか
な、なんだか緊張するな
いよいよかと思うとな…
……
ねぇクラース
…



あなたが あの旅から 戻ったときに わたし 言ったわよね
もう待つのは いやよ
それから あなたは ここに居るわ
研究を しながら 教師を しながら
わたしの となりに
…でも本当は 行きたい所が あるんじゃない？
やりたいことが あるんじゃない？


わたし間違ってたわ
…いいえ
言葉が足りなかった
待つのはいやよ
でもあなたの
重荷になるのは
もっといや
あなたを
閉じ込めたくて
言ったんじゃ
ないわ…っ…
あなたの
旅の話を聞くのも
楽しいけど
子供みたいな
顔をして
してくれる
同じものを
自分で見て
感じて
自分の言葉で
綴って
本(カタチ)にするの


…わたし
…っ
さすさす
いたた…
…ふー…
わたしたち…ついていくから
たとえ他の時代でもよ！
…それはもうムリだが。
…学校はどうするんだ？
休校にするわ
そんな無責任な…
あなたが言う!?
ゴホンゴホンッ
それは私の方なのだ
解っているのに
あなたにとってはそれはそれで重荷でしょうけど
ただの女のわがままだけど…でもわたし
ちがう
そうではない
今も昔も



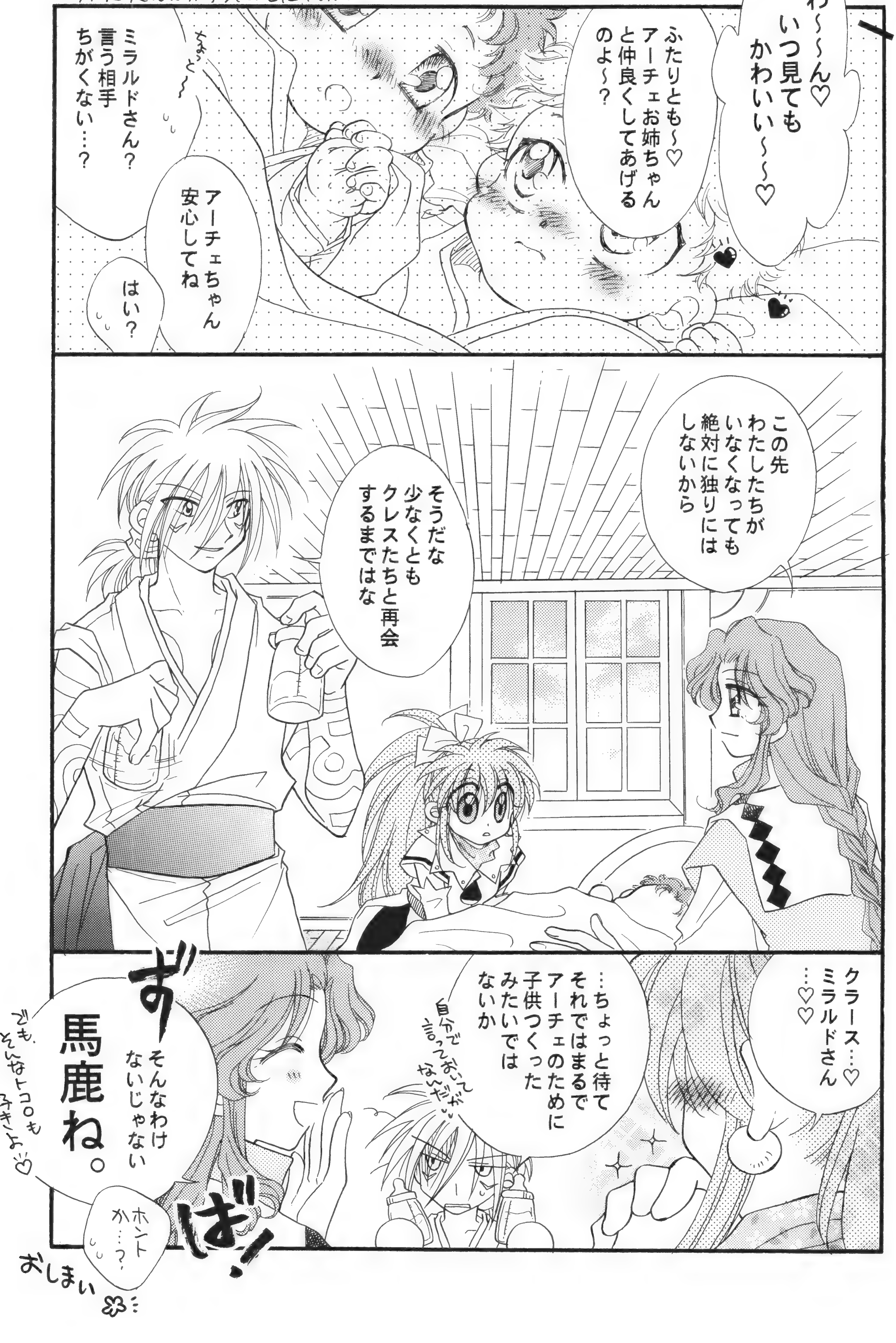
そうだな
単なる女のワガママに付き合う義理はないが
んまー!
それでも
それでも
私は……
ミラルドのわがままならばな
私のわがままにもとことん付き合ってもらうとするか
『謙遜』ってコトバ知らないの？ じゅーぶんつき合ってると思うわよっ
クラース…
…ん…？
ちょっと…



きた…かも…
…いっ…たた
おまたせ！っ
センセイつれてきたよ～
ばんっ
ぎゃあ
ぎゃあ
そそ
ああもう
いったーーいっ
もーーいや
あうみたくなーーいっ！
先生！早くなんとかしてやってくれええっ!!
それにしても
…やけにタイミングよく戻ってきたな
のぞいていただろうっ!!
え～？気をつかってあげたんじゃ～ん？
追い出された。

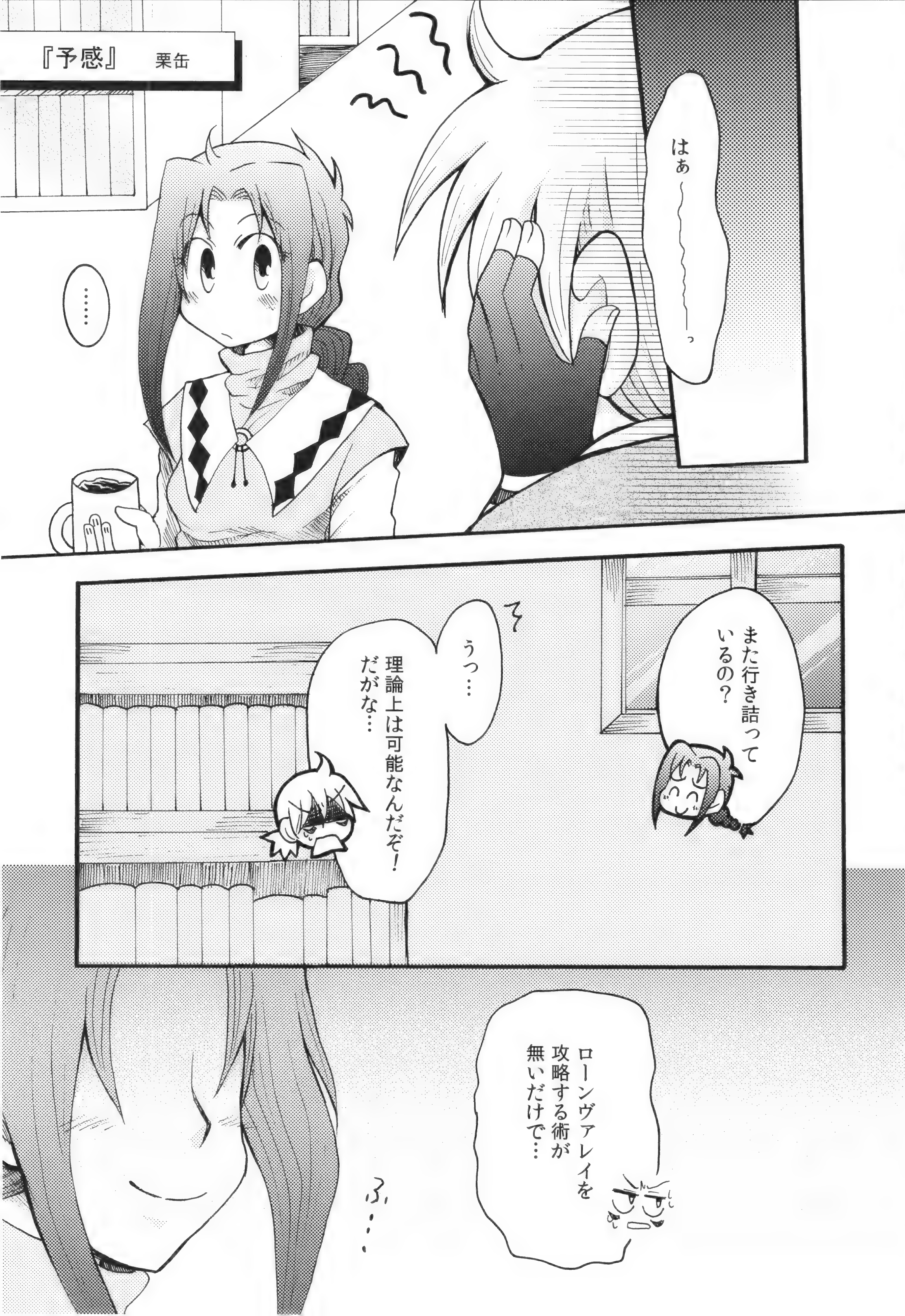
うちのミラさんは双子ちゃんを産みマス

•おまけ•





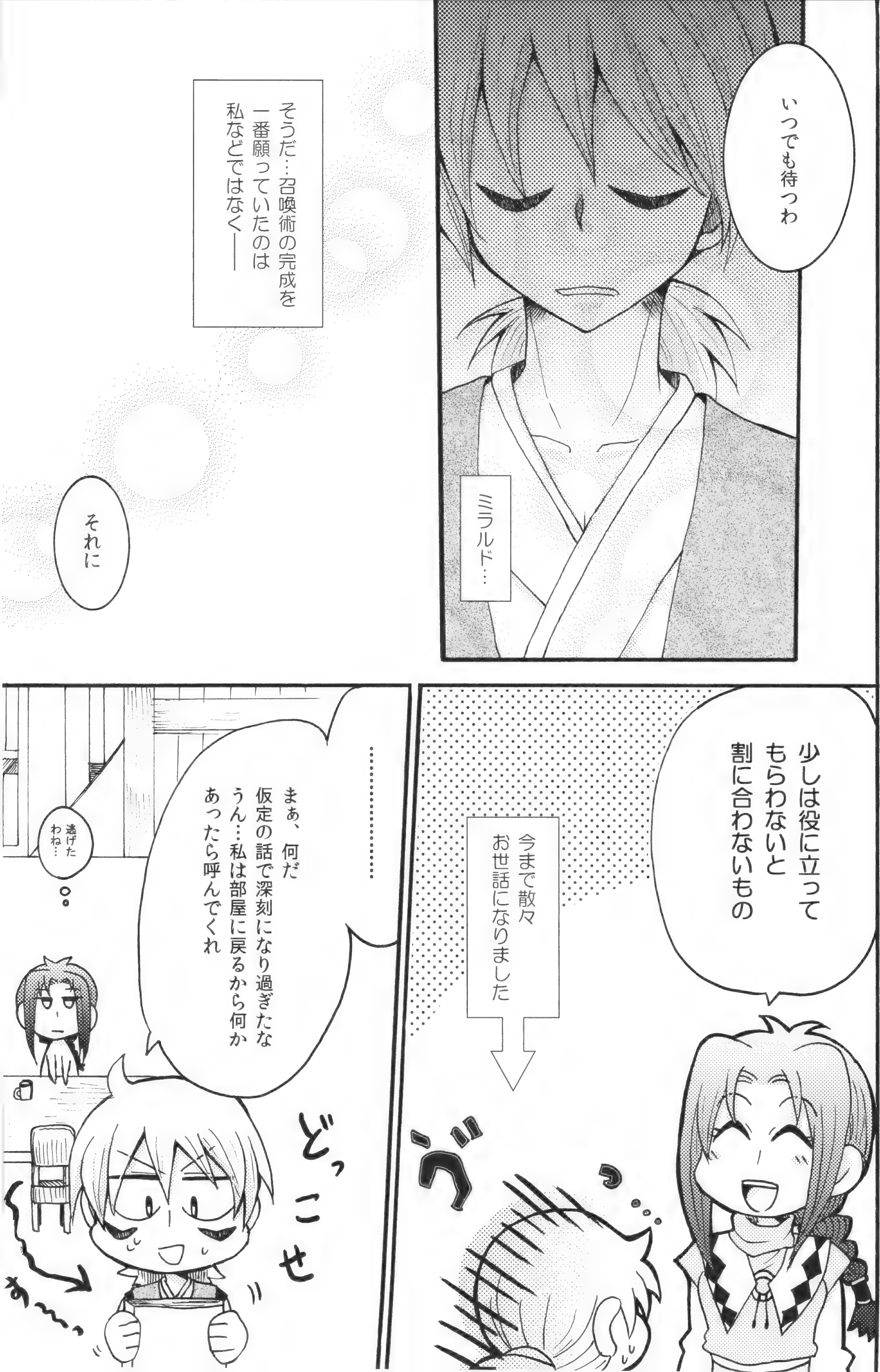
ユークリッドデイズ
Euclid Days
クラース×ミラルド
アンソロジー

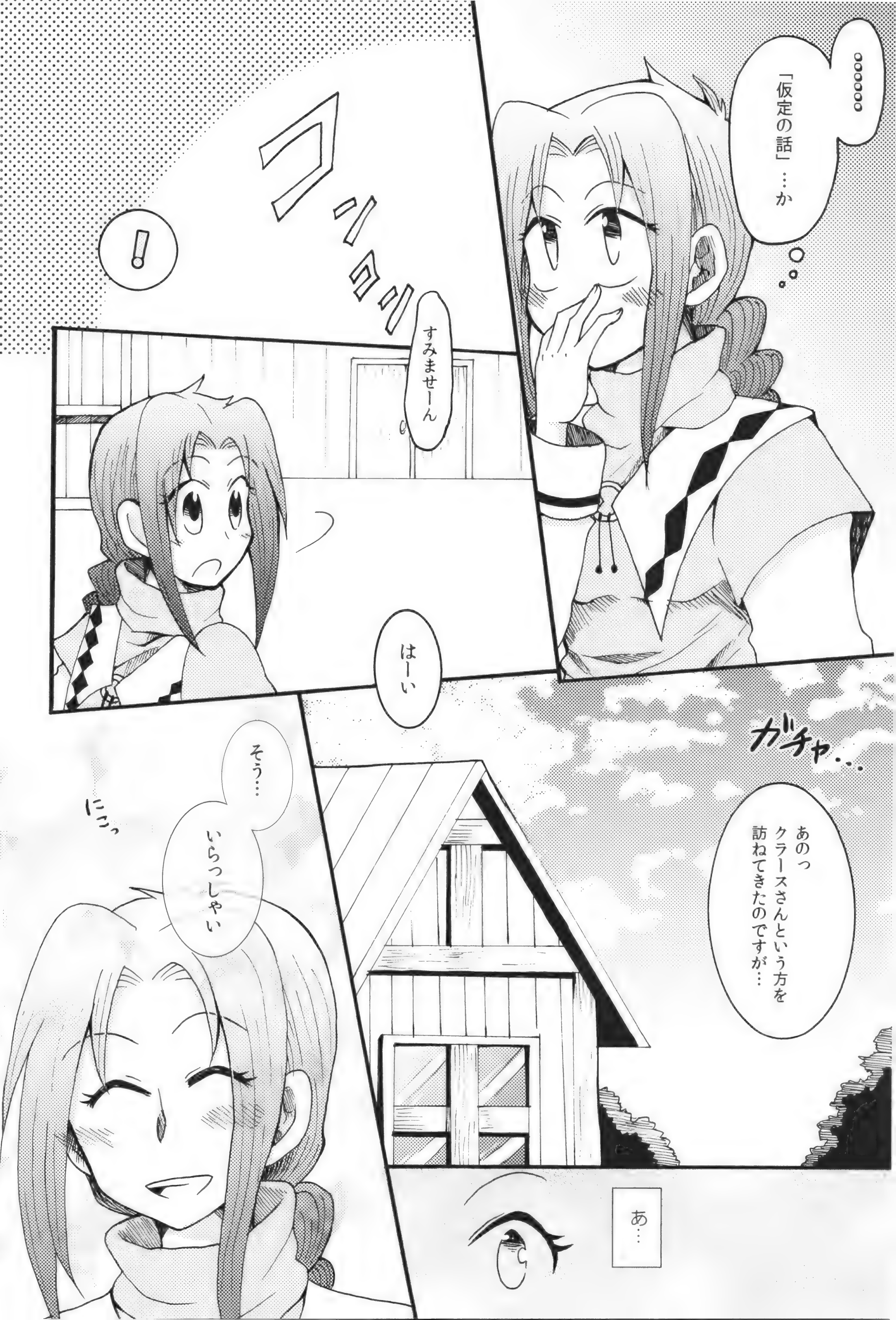

『予感』 栗缶
はぁ〜〜〜〜〜〜〜っ
……
また行き詰っているの?
うっ…
理論上は可能なんだぞ!
だがな…
ローンヴァレイを攻略する術が無いだけで…
ふ・・・


今のあなたって ただの**オッサン**だものね
オッサン言うなッ!!
それなら お前は **オバ…**
いや…まぁ 本片手に単身 乗り込むなんて 真似が出来ない 訳だがぁ～
こういう時 腕の立つ友人か 知り合いでもいればね～
ふんっ
私を変人扱いする 奴らの手など 借りたくもないわ!
そんな事言ってるから 変人扱いされるのよ


そうねぇ～
何処かにダオスを倒そうと
旅をしている勇者でも現れて
ローンヴァレイの攻略に
協力してくれればいいのに
…そんな都合のいい
勇者が居る訳ない
だろう…
いやに
具体的だな…
そうかしら
……
そうだ…駄目だ
え…？


そんな事になったら
私はその勇者と
長い旅に出ることに
なるではないか
必然的に
ぐっ…
あらっ
いいじゃない
何が…——
お前を一人置いて
行くなんて私は——
私はね
クラースの召喚術が
誰かの為になるなら
とても嬉しいし　その為なら


いつでも待つわ
ミラルド…
そうだ…召喚術の完成を一番願っていたのは私などではなく――
それに
少しは役に立ってもらわないと割に合わないもの
今まで散々お世話になりました
ヴっ
……………
まぁ、何だ仮定の話で深刻になり過ぎたなうん…私は部屋に戻るから何かあったら呼んでくれ
逃げたわね…
どっこせ
す〜〜っ


……
「仮定の話」…か
コンコン
!
すみませーん
はーい
ガチャ…
あのっ
クラースさんという方を
訪ねてきたのですが…
そう…
いらっしゃい
にこっ
あ…


クラース！
あなたにお客さんよ
こんな日が来ると
心のどこかで
ずっと感じていたわ
……
お願いします！
クラースさんの
協力がどうしても
必要なんです！
だから私は
大丈夫
あなたの帰る場所で
信じて待っているから
『予感』END

COMMENT

nemi さま

http://nene.penne.jp/

♥
クラミラアンソロ発行おめでとうございます!
久しぶりにPS版起動して，懐かしみながら
描かせていただきました。
(ミラルドさんは本に座るなんてお行儀悪いことしないか
もですが、シチュのひとつという事で大目に見てやってく
ださい…!)
他のメンバーさんの作品も大変楽しみです!
この度はお誘い頂きありがとうございました!



K さま

pixivID=1722066



アンソロ発行
おめでとう&ありがとうございます

はじめまして、こんにちは。Kと言います。
ファンタジアが好きで気づいたら十数年経ってた者です。

ファンタジアはどのキャラもカプもすきですが、クラミラは
たくさんは描いてこなかったのでお声掛けいただいた時は
私、描いて良いんだろうかと…！

今回クラミラを描くにあたって改めて二人に
想いを馳せたのですが、やっぱいいなぁ～
に尽きました。
新婚旅行で今度は二人で小旅行でもすれば
いいと思います。

COMMENT

いよ さま
http://gomasuo.jugem.jp/



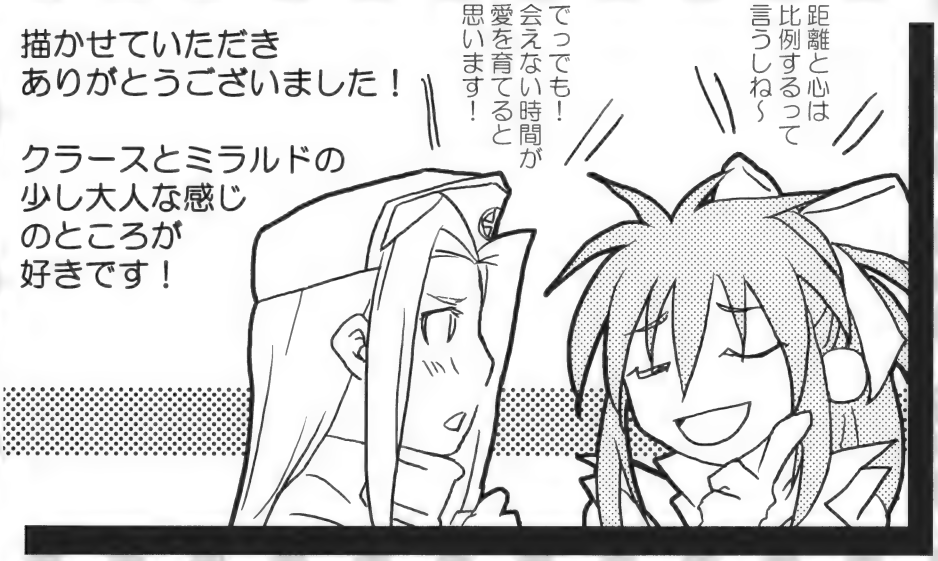
瀬田 さま
http://c-orange.net/ciki/



COMMENT

三津シイ さま

http://yea.jp/mitu/



高槻きく丸 さま

no site



COMMENT

マッハ☆なめみそ さま
http://sunoko.namemiso.net/

マッハ☆なめみそ http://sunoko.namemiso.net/

クラミラアンソロジー
発行おめでとうございます★
執筆させていただき，ありがとうございました。
クラミラはネタがつきませんね。私のネタはいつも
可哀想な感じになるので
クラースさんホントすいません・・・



シャチ さま
TwitterID=@ichigoo15

テイルズオブファンタジア　クラース×ミラルド　アンソロジー
ユークリッドデイズ発行おめでとうございます！

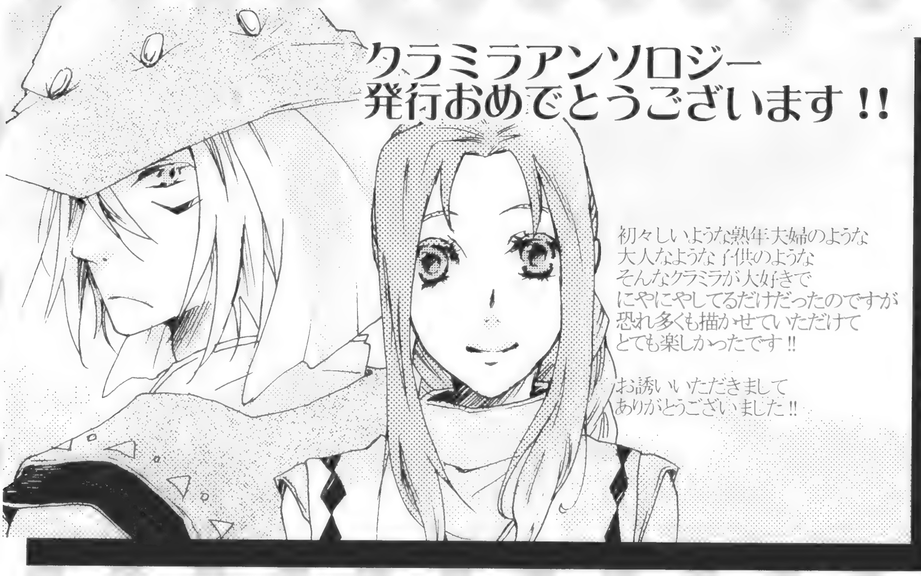
素敵な企画にお誘い頂き本当に
ありがとうございます！
自分の好きなクラミラを描かせて
頂けたのでとても楽しかったです。
称号の『えんれんのひと』の意味
が幼い頃にはわからなかったこと
を思い出し、TOPって大人
なゲームだなと改めて
感じました。笑
クラミラこれからも大好き
です♡
シャチ



COMMENT

迎ゆえ さま

http://kwcl.moo.jp/



一沙 さま

http://kazemakaseweb.blog79.fc2.com/

クラミラアンソロ発刊おめでとうございますっ!!
テイルズ作品と出会ってから今まで、愛して止みません。
これから先も、ずっと愛でていく二人へ。
そっと一花添える機会をくださり、ありがとうございました。
ありったけの想いを込めて……。

お誘いいただき、ありがとうございました。
そして、アンソロ発刊、本当にありがとうございます!
クラミラに幸あれ!!

【カゼマカセ】アルカナ・ファミリアのパフェリ中心に活動中。
他、三国恋戦記(孔花・仲花)やテイルズ等をもそもそと書いてます。

COMMENT

D・キッサン さま
TwitterID=@d_kissan



イチタロ さま
pixivID=417187



COMMENT

小杉るな子 さま
no site

クラ♡ミラ アンソロ 発行
おめでとうございます!!

求婚・妊娠・子育てっぽいモノは、以前
描いたことがあるので、あとは出産?
というコトで あんなカンジに…。でも、
人様の御本(しかもアンソロ)でやるネタじゃ
ないですネ。その上 ウチのミラさん、公式外見
じゃないし〜。でもでも、とても楽しく
描きました♡　お誘い本当に
アリガトウゴザイマシタ♡♡
小杉るな子.2013.6.



栗缶 さま
http://xxxhayamisan.web.fc2.com/



クラミラアンソロジー発行!

こんな素敵な本にお誘い頂き有難うございました！
もう夢の様です。いちクラミラファンだった私が…
沢山の方のクラミラ作品の一部に加われるとか！
主催者様には感謝してもしきれません!!
これを機に更にクラミラ好きを広めて
行けたらなぁと思います。
今回描かせて頂いたクラミラなのですが
初のクレス達に会う前の時間軸話となりました。
台詞とか出会いとかかなり違ってますが
クレス達に会う前にこんな二人の会話が
あっても良いかなぁと思いまして。
クラースの夢の様な研究を応援し続けてきた
ミラルドさんにはきっとう予感があったと思うのです！
因みにタイトルはカップニング曲から頂きました。
ここまでお付き合いありがとうございました。
クラミラは永遠のカップリングです!!愛!!

COMMENT

イヅミ（主催）

http://www3.to/izmi



ファンタジアをプレイした当初は、ここまで
クラミラにハマるとは予想もしておらず…

大人のようで子供のようで、
一つ屋根の下しりにしいたりひかれたり、
若いくせに熟年夫婦然というこの二人が
好きで好きでたまらず、思い入れ先行で
えいやっと企画してしまいましたが、
皆様のお陰でクラミラの魅力をもっと感じて
いただける温かいアンソロになったのでは
ないかなあと思っています。
企画から1年以上、まさにクラミラ漬けと言っても
過言ではない日々は私にとっても幸せな毎日でした。

お忙しい中ご寄稿いただいた皆様へ、
ご協力くださった皆様へ、心からの感謝を。

ありがとうございました♥

クラミラは不滅だー!!

イヅミ拝。

★各作品へのご感想は、ぜひ執筆者さまへお伝えください。

★サイト等のない執筆者さまへのご感想は、奥付アドレスまで
お寄せいただければ主催より責任持ってお伝えします。

クラミラの永遠の愛を祈りつつ…

2013.08.12　イヅミ

ユークリッドデイズ Euclid Days クラース×ミラルド アンソロジー

テイルズオブファンタジア
クラース×ミラルド アンソロジー

「ユークリッドデイズ」

2013年8月12日発行
発行責任者 ： イヅミ（グラナディラ）

※ 乱丁・落丁はお取替えいたします
お手数ですが下記連絡先までお知らせください

http://euclidays.web.fc2.com/

euclidays@gmail.com
grenadilla@mail.goo.ne.jp

タイトルロゴ作成協力 ： マッハ☆なめみそさま

【sunokko design】
http://sunokko.namemiso.net/

印刷 ： サンライズパブリケーションさま


イチタロ
いよ
一沙
栗缶
K
小杉るな子
シャチ
瀬田
高槻きく丸
D・キッサン
nemi
マッハ☆なめみそ
三津シイ
迎ゆえ
イヅミ
grenadilla 2013